



セイノーホールディングス株式会社

証券コード：9076

平成29年スローガン

継承

第96期 株主通信

平成28年4月1日 ▶ 平成29年3月31日

セイノー ロジ・トランス新木場



トップメッセージ

株主の皆様には、日頃より格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

ここにセイノーホールディングス株式会社第96期（平成28年4月1日から平成29年3月31日まで）の株主通信をお届けするにあたり一言ご挨拶申し上げます。

当社グループは、最終年度となる中期経営計画「「JUMP UP 70」～未来への変革～」の達成に向け、各施策を着実に実行するとともに、事業領域の拡大にも取り組むことで確固たる事業基盤の確立に努め、当社の企業価値向上に向けて一丸となって邁進してまいりました。

この結果、当連結会計年度の売上高は5,675億39百万円（前連結会計年度比2.2%増）、営業利益は271億16百万円（前連結会計年度比3.6%増）、経常利益は289億9百万円（前連結会計年度比2.2%増）、親会社株主に帰属する当期純利益は、182億6百万円（前連結会計年度比3.5%減）となりました。

株主の皆様におかれましては、今後とも一層のご支援、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。



代表取締役社長

田口 義隆

セイノーグループ 経営理念

「人間尊重」と「挑戦」のDNAを基礎とした「経営理念」

～お客様への+αの豊かさの提供の為に～『会社を発展させ、社員を幸福にする』

全社員が幸福になるには、

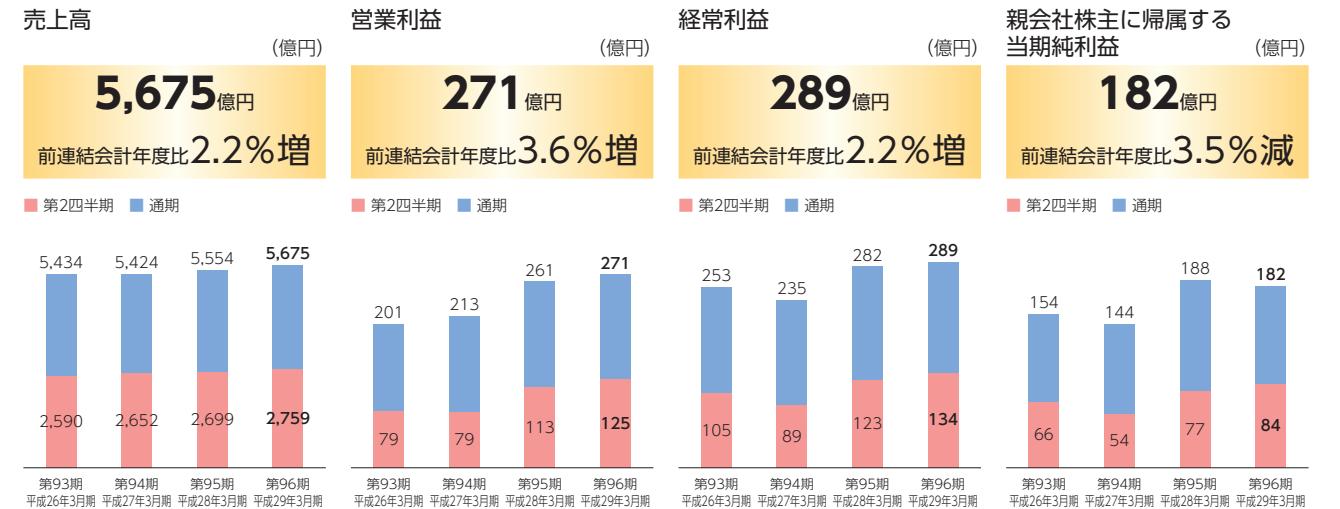
経済的に満たされること、自分の仕事に誇りを持てること、将来に明るい展望を持てること、

この三点が何よりも重要と考えています。

これら「経済問題・誇り・将来性」を幸福の三本柱と呼んでいます。

決算ハイライト

- 輸送事業では、人件費・外注費等でコスト増となる中、新規荷主獲得や適正運賃・料金収受、更なる効率化により増収増益。
- 自動車販売事業では、乗用車の新型車の販売増に加え、トラック・バスの新車販売も大幅に増加し、増収増益。
- 物品販売事業では、燃料価格の下落により減収。



次期見通し

	第2四半期	前年同期比	通期	前年同期比
売上高	2,810億円	1.8%増	5,820億円	2.5%増
営業利益	123億円	1.8%減	275億円	1.4%増
経常利益	132億円	1.6%減	292億円	1.0%増
親会社株主に帰属する当期純利益	81億円	4.7%減	177億円	2.8%減

セイノーグループ事業概要

「カンガルー便」でおなじみの路線トラックで、日本全国の企業間物流のパイオニアとして日本の産業を力強く支える輸送業を核に、自動車分野の知識を活かした自動車販売など本社所在の西濃地方を中心とした生活支援の事業を行っています。

連結子会社70社、関連会社21社

情報関連事業、住宅販売業、建築工事請負業、タクシー業および労働者派遣業などを行っています。



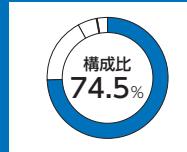
セイノーグループが所有しているトラックターミナルや店舗の跡地などを賃貸しています。



セグメント別の概況

輸送事業

売上高 4,228億円
前連結会計年度比1.6%増



養老サービスエリアでの夜間安全督励

貨物コンテナ

- ◎ 新規荷主の獲得や適正運賃・料金収受の積極的な交渉を推進。
- ◎ 路線車両の出発時間、待機時間の改善による効率化を実施。

トピックス

株式会社こばうんと業務・資本提携

当社は株式会社こばうんと業務および資本提携を行いました。同社は福島県の県南地方で集荷、配達、路線便、倉庫管理など様々なサービスを提供しており、今後、運行便の効率と貸切のコラボ等によりその発展に協力するとともに、白河地方のネットワークの更なる強化を行ってまいります。



各務原物流センターを設立

濃飛西濃運輸株式会社では各務原支店の隣接地に各務原物流センターを設立しました。同センターはロジスティクス事業の拡大、充実を目的に建設された敷地面積800坪、保管庫面積1,000坪の二階建ての施設で定温商品の保管が可能な空調設備も備えています。



物品販売事業

売上高 277億円
前連結会計年度比1.0%減

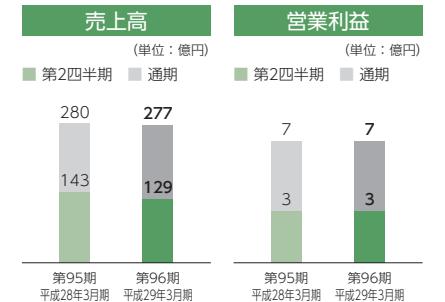
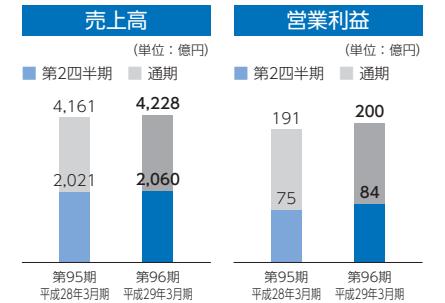


ギフトセット



北海道メロン

- ◎ おむつやティッシュペーパーなど、家庭紙販売が好調に推移。



自動車販売事業

売上高 1,002億円
前連結会計年度比6.1%増



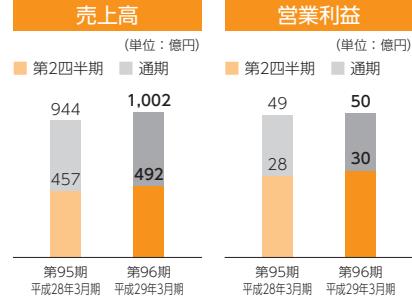
ネットトヨタ岐阜 穂積店 整備士による車両点検

- フルモデルチェンジした車種の販売を中心に乗用車の新車販売台数が増加。
- トラック・バスの新車販売台数が増加。

トピックス

フィリピン日野ディーラー「最優秀賞」受賞

Subic GS Auto, Inc.では、平成29年1月27日のディーラー会議において、同社の3店舗のうちの「日野パラニャメトロマニラ」がディーラー・オブ・ザ・イヤー（最優秀賞）および販売台数賞を受賞しました。この賞は販売台数、部品売上、整備売上、金利収益等が評価され、フィリピンで最大の市場「マニラ首都圏」とその他の地区の2店舗のみに贈られ、同社は初の受賞です。同社全体では、順調に新車販売台数を伸ばし、フィリピン国内の日野新車販売も2,877台と世界第11位にまで成長してまいりました。



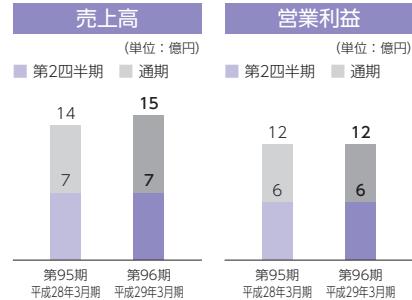
不動産賃貸事業

売上高 15億円
前連結会計年度比4.8%増



旧梅田ターミナル跡地 旧四ツ橋ターミナル跡地

- 旧梅田ターミナル跡地の単身用賃貸マンションの本格的運用により増収。



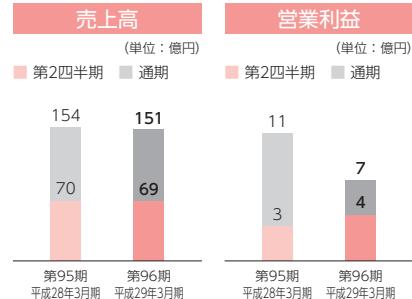
その他

売上高 151億円
前連結会計年度比1.7%減



スマートデバイス 女性タクシードライバー

- 情報関連事業において、物流アウトソーシング、クラウドサービスおよびソフトウェア開発が好調に推移。



今期のトピックス

エコドライブ活動コンクールで国土交通大臣賞を受賞

西濃運輸株式会社は、平成28年11月18日に開催されたエコドライブ普及推進協議会／公益財団法人交通エコロジー・モビリティ財団が主催するエコドライブ活動コンクールにおいて、事業部門の最優秀賞にあたる国土交通大臣賞を受賞しました。

この度の受賞は、社内インストラクター制度を導入し、具体的な運転指導をエリアごとに実施したこと、また大型車の燃費が約20%向上、車両事故は約70%削減できたことが高く評価されたものです。



KARATE1プレミアリーグ・オランダ大会で優勝

空手道部の新馬場一世選手は、男子形競技の日本代表として参加したKARATE1プレミアリーグ・オランダ大会（平成29年3月17日～19日・オランダ・ロッテルダム）にて見事優勝し、金メダルを獲得しました。

新馬場選手は、1回戦から決勝までの全ての試合で相手に1本の旗も譲らず全て5-0の判定で勝ち上がる完全勝利での優勝を果たしました。3年後の東京オリンピックでは空手が正式競技として採用されることが決まっており、新馬場選手もオリンピック出場が期待されています。

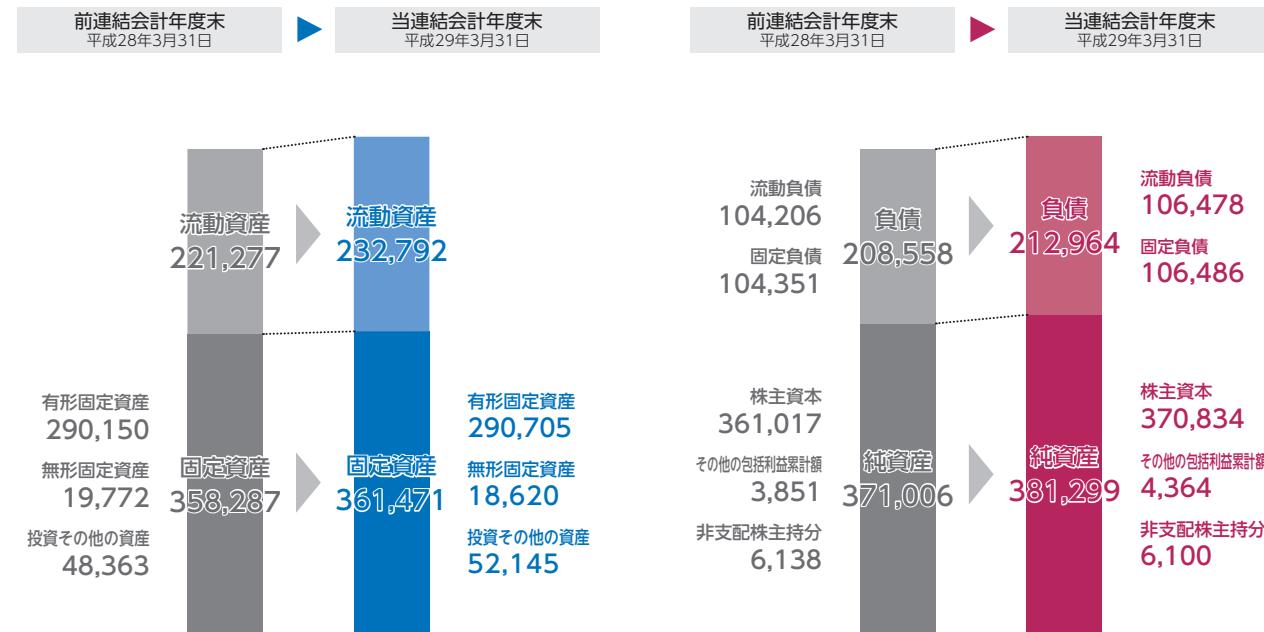
第8回アジア冬季競技大会で4冠

岐阜日野自動車株式会社スキークラブでは、札幌市で行われた第8回アジア冬季競技大会（平成29年2月19日～2月26日）に出場したノルディックスキー距離の小林由貴選手が同大会4冠を達成しました。

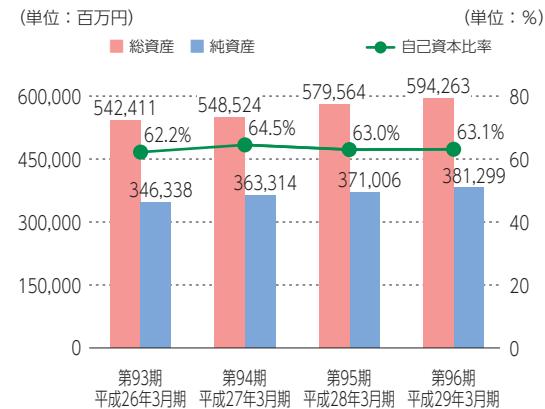
小林選手は15キロフリーマススタートを43分28秒6で制覇した上、10キロフリー、5キロクラシカル、20キロリレーを合わせ日本選手団最多となる4つの金メダルを獲得し、平成30年2月に韓国で開催される平昌オリンピックに向けて弾みをつけました。



■ 連結貸借対照表の概要 (単位:百万円)



総資産／純資産／自己資本比率



ワンポイント解説

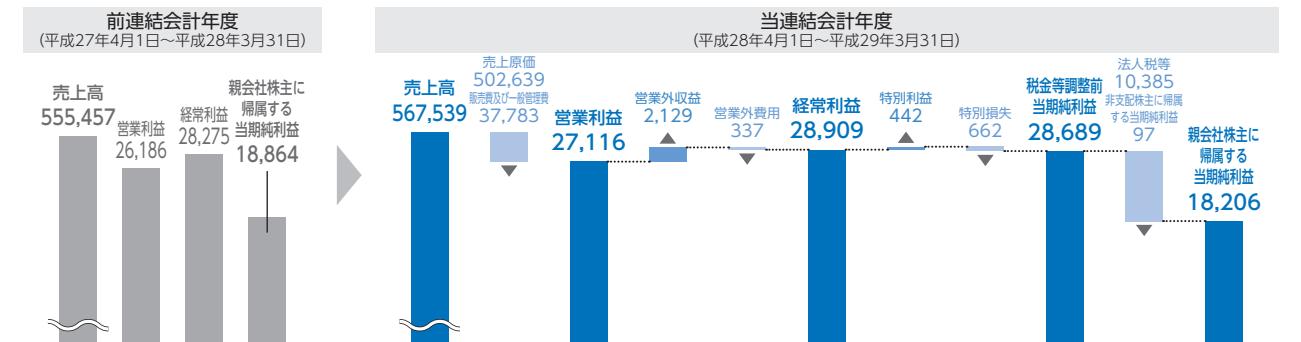
連結貸借対照表

総資産は、5,942億63百万円と前連結会計年度末に比べ146億99百万円の増加となりました。有価証券および投資有価証券が増加したことなどが主な要因であります。

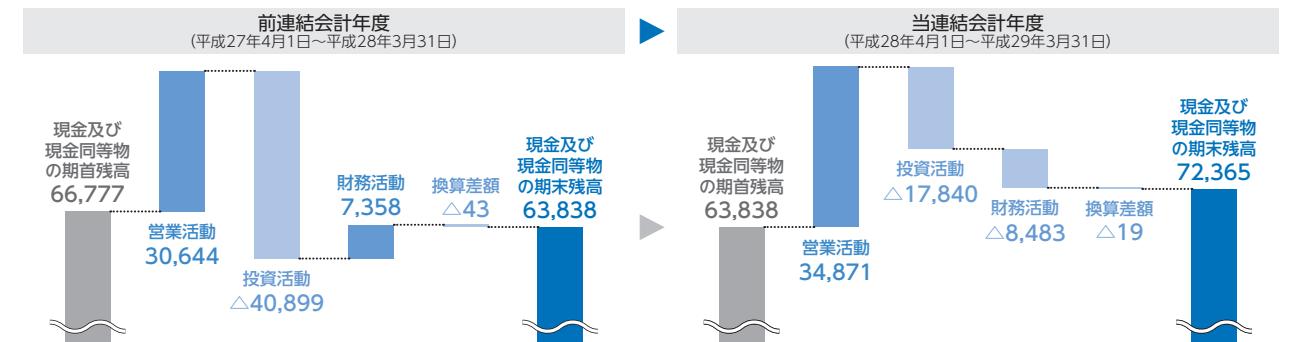
負債については、2,129億64百万円と前連結会計年度末に比べ44億6百万円の増加となりました。営業未払金および買掛金が増加したことなどが主な要因であります。

純資産については、3,812億99百万円と前連結会計年度末に比べ102億92百万円の増加となりました。利益剰余金が増加したことなどが主な要因であります。

■ 連結損益計算書の概要 (単位:百万円)



■ 連結キャッシュ・フロー計算書の概要 (単位:百万円)



ワンポイント解説

連結損益計算書

P.2「決算ハイライト」およびP.4～5「セグメント別の概況」をご覧ください。

連結キャッシュ・フロー計算書

現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、前連結会計年度末に比べ85億27百万円増加し、723億65百万円となりました。営業活動の結果得られた資金は、前連結会計年度に比べ42億26百万円増加し、348億71百万円となりました。これは主に、法人税等の支払額が増加したものの、未払消費税等の増減額が増加したことなどによるものです。

投資活動の結果使用した資金は、前連結会計年度に比べ230億58百万円減少し、178億40百万円となりました。これは主に、譲渡性預金の預入による支出が減少したこと、連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出が減少したことなどによるものです。

財務活動の結果使用した資金は、前連結会計年度に比べ158億42百万円増加し、84億83百万円となりました。これは主に、長期借入れによる収入が減少したことなどによるものです。

会社情報 (平成29年3月31日現在)

会社情報

創 業 昭和5年2月11日
 設 立 昭和21年11月1日
 本 社 岐阜県大垣市田口町1番地
 資 本 金 42,481,597,426円
 事 業 内 容 1. 貨物自動車運送事業
 2. 貨物利用運送事業
 3. 倉庫業
 4. 自動車の販売、修理等
 5. 燃料、紙・紙製品等の販売
 6. 他の事業に対する投資
 7. 前各号に付帯する一切の事業 他

グループ会社 連結子会社 70社
 持分法適用関連会社 6社
 関連会社 15社

役員

代表取締役社長 田 口 義 隆
 代表取締役 田 口 隆 男 事業推進部担当 (自動車販売・関連事業)
 取締役 大 塚 委 利 対外事業担当
 取締役 神 谷 正 博 事業推進部担当 (輸送事業) 兼 情報システム部担当兼不動産開発部担当
 取締役 丸 田 秀 実 国際戦略室担当
 取締役 古 橋 治 美 総務部担当兼人事部担当兼 コーポレート推進部担当
 取締役 野 津 信 行 財務IR部担当兼経理部担当
 社外取締役 棚 橋 祐 治
 社外取締役 上 野 健 二 郎
 常 勤 監 査 役 熊 本 隆 彦
 常 勤 監 査 役 寺 田 新 吾
 社外監査役 加 藤 文 夫
 社外監査役 笠 松 栄 治

※ 平成28年9月22日、取締役相談役田口義嘉壽氏は死去いたしました。

株式の状況 (平成29年3月31日現在)

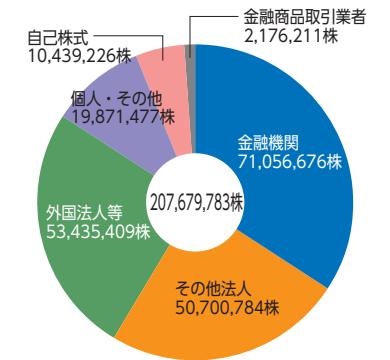
株式の状況

発行可能株式総数 794,524,668株
 発行済株式の総数 207,679,783株
 単 元 株 式 数 100株
 株 主 数 5,789名

株 主 名	持 株 数
公益財団法人田口福寿会	24,818千株
日本マスタートラスト信託銀行株式会社 (信託口)	9,804
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社 (信託口)	7,647
株式会社十六銀行	6,538
あいおいニッセイ同和損害保険株式会社	5,347
日野自動車株式会社	4,359
株式会社大垣共立銀行	4,065
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社 (信託口9)	3,522
アドニス株式会社	3,299
STATE STREET BANK AND TRUST COMPANY 505001	3,153

(注) 上記のほか当社保有の自己株式10,439千株があります。

所有者別株式数



株主メモ

事 業 年 度 4月1日から翌年3月31日まで

配当金受領株主確定日 期末配当金 3月31日
 中間配当金 9月30日

定 時 株 主 総 会 毎年6月

株 主 名 簿 管 理 人 三菱UFJ信託銀行株式会社

特別口座の口座管理機関 三菱UFJ信託銀行株式会社

同 連 絡 先 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
 〒137-8081
 東京都江東区東砂七丁目10番11号
 電話 0120-232-711 (通話料無料)

公 告 の 方 法 電子公告
<http://www.seino.co.jp/seino/shd/koukoku/index.htm>
 ただし、事故その他やむを得ない事由によつて電子公告による公告をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載して行います。

株式に関するお手続きについて

お手続きの内容	証券会社の口座を開設されている株主様のお問い合わせ先	証券会社の口座を開設されていない株主様のお問い合わせ先
単元未満株式の買取・買増	お取引先の証券会社	三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
住所・氏名などの変更		
株式の口座振替請求		
配当金受取り方法の設定		
未払配当金のお支払	三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部	
その他株式事務について		

単元未満株式(1~99株)の買取・買増について

当社株式の市場取引は100株単位となっております。単元未満株式をお持ちの場合、端数の株式が整理できる買取・買増制度を設けております。

買取請求とは

お持ちの単元未満株式を、当社に対して時価で売却することができます手続きです。

買増請求とは

お持ちの単元未満株式と合わせて1単元(100株)となるように、当社に対して時価で単元未満株式の売り渡しを請求することができます手続きです。

ホームページのご案内

当社ホームページでは、最新のニュースやIR情報など、当社をご理解いただくための様々な情報を紹介しております。
 西濃運輸株式会社のホームページでは、幅広い輸送商品や輸送に役立つ情報などを紹介しております。



セイノー HD

検索

<http://www.seino.co.jp/seino/shd/>



西濃運輸

検索

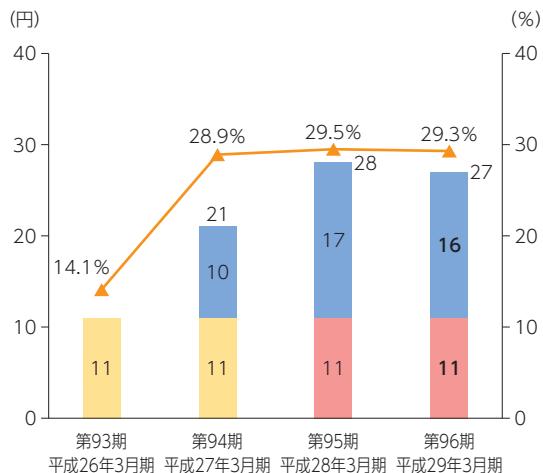
<http://www.seino.co.jp/>

株主還元情報

配当金

利益配分につきましては、中・長期的視野に立って株主資本の充実と利益率の向上を図りながら、中間配当を実施し、原則として1株当たり年間11円を下限とし、連結配当性向30%を目処として配当を実施するよう努めてまいります。

■ 中間配当 ■ 期末配当業績連動 ■ 期末安定配当 ▲ 配当性向



株主優待制度

毎年3月末日現在の株主様へ、保有株式数および保有期間に応じた割引額のクーポン（※）を贈呈いたします。

※クーポンとは当社グループ会社が運営する「なっつく！セイノーショッピング」の専用サイトで入力することでお支払いを割引く認証コードであり、実際の金券等は発行されません。

※特設サイトではQUOカードも取扱っております。

	100株以上 1,000株未満	1,000株以上
3年未満保有	700円相当	1,200円相当
3年以上継続保有（※）	1,200円相当	2,200円相当

（※）3年以上継続保有とは、権利が確定する3月末日現在の株主名簿を含む、過去の3月末日および9月末日現在の株主名簿へ7回連続して記載されることとします。また、その期間中の株主名簿への株式数の記載が100株または1,000株を下回らない場合を、それぞれ100株以上または1,000株以上とします。

セイノーホールディングス株式会社
〒503-8501
岐阜県大垣市田口町1番地
TEL 0584-82-3881（代）



見やすいユニバーサルデザイン
フォントを採用しています。